



REEL No. A-0214

0049

アジア歴史資料センター

(未定稿)

「北支經濟開發方針」ニ關スル意見

「北支及上海方面經濟開發方針」ニ關スル意見

(1) 全体的ニ見テ開發ニ關係アル事項中或部分ハ比較的細ニ重リ或  
部分ハ全然觸レサル等輕重宜敷ヲ失スルヤノ感アリ極メテ漠然  
タル大綱案トスルカ又ハ關係事項全部ニ亙リ言及スルカ何レカ  
ニ統一スルヲ可トス

(2) (一)ニ關シ「差當リ左ニ着手シ得ル事業」トハ(1)專業經營技術的  
ニ可能ナル意味ナリヤ(2)資本的採算上可能ノ意ナリヤ(3)又ハ日  
滿支生産力擴充ノ全般的考慮ト豐富ナラサル資金ノ有利ナル利  
用ヲ勘考シタル上ニテ國家的ニ可能ナルノ意ナルヤ明白ニ非ス  
現狀ニ於テハ前記中(1)ノ考慮ノ上ニ立タサルヲ得サルヘキ存此  
ノ點ヲ明白ナラシムルヲ要ス

(3) (一)ニ關シ半額ヲ超エサル支那資本(又ハ發售權ナキ第三國  
資本)ノ國策會社參加ヲモ許容スル必要アリ少クトモ現狀ニ於

外務省

12.11 IMT 357

8

0066

テ國策會社資本如何ニ多額トナルトモ大ニ<sup>是</sup>礙クル虞ナク然モ  
性「インフレ」ヲ欲セサル限本邦資本ハ無限ニ供給シ得ル可能  
性ナシ

故ニ本邦ノ支配權ヲ害セサル限支那資本(又ハ第三國資本)參  
加ハ國策會社ニ對シテモ之ヲ認メ何等差支ナク殊ニ次項ニ實及  
スヘキ通個々ノ事業ノ經營者ノ自由手廻ヲ許容ストセハ必<sup>は</sup>續然  
個々ノ產業會社株式中國策會社ノ持分以外ノ株式ノ主要部分ヲ事  
實上ノ經營者ニ保有セシムルヲ要スルヲ以テ若シ國策會社ニ支  
那資本參加ヲ認メストセハ之カ開發事業參加ノ余地ハ著シク縮  
減セラルヘシ

外務省

12.11 IMT 357

9

0067



(4) (二) (ハ) 及 (ニ) ニ關シ、本案ノ主眼ハ要スルニ國策會社長ニ北支全主要産業ヲ切廻サシメムトスルニ在ルカ如キモ斯カル會社ニ對シ果シテ國內主要關係企業家カ喜ンテ参加スヘキヤ否ヤ、更ニ又右會社ノ中心タルニハ人物(長ノミヲ指スモノニ非ス)資本、事業經驗ヲ併有スル日産ノ如キモノヲ必要トスル處果シテ他ニ斯カルモノニシテ適當ナルモノアリヤ否ヤ疑問ナルヲ以テ滿洲ニ於ケルカ如ク一應事業體制ノ整ヒ居ル場合ト事情ヲ具ニスル北支ニ於テハ寧ロ個々ノ産業ニ付經營上ノ經驗事業上ノ技術、労働等ヲ最モ完全ニ備カシメ得ル事業家ヲ求メ之ヲシテ充分ナル手腕ヲ發揮セシムル方有利ニシテ且現在喧シキ本邦資本家ノ要望ニモ協フ所以ニ非スヤ斯カル場合國策會社ハ寧ロ個々事業會社ノ金融上ノ世話ヲシ彼等カ中央ノ政策ヲ實施シ違背セサル様大綱ヲ統フルト同時ニ常ニ新規計畫案ノ實施ニ參畫シ新事業會社ノ設立ヲ目論ムヲ主タル業務トスルモノタラサルヘカラス

外務省

(5) (二) (ハ) ニ關シ中央ニ於テ各關係廠ヲ網羅スル北支開發計畫機關ノ設立セラレタルハ歡迎スヘキ處ナルモ之ト併行シテ現地ニ於テ中央ノ指示ニ從ヒ又ハ自發的ニ調査立案ヲ爲スヘキ同種同系ノ機關ヲ速急ニ設立セサレハ計畫ノ決定ハ却々涉取ヲサルヘシ現地(惹イテハ中央)ニ於ケル各官廳ノ融合ノ爲ニモ右ハ極メテ肝要ナリ右機關ハ又中央ノ意ヲ体シ會社事業ノ保護監督ニ當ルニ適當ナル官憲ナルヘシ

外務省

(6) 關シ自由企業ノ要望ハ現ニ民間ニ充滿シ居レルモ本邦ニ於テ資金ノ欠乏ニ苦シミ凡ユル企業資金ニ統制ヲ加ヘ居レル際北支ノミニ資金ノ自由使用ヲ許ス理由ナシ、極端ニ云ヘハ現狀ニ於テハ主要産業以外ノ企業ハ之ヲ企業スル必要ナク之ニ充當シ得ル資金アラム重要産業ニ振向クルヲ至當トスヘキナリ支那資本外國資本ニ付テハ困難アルヘキモ出來得ル限り前述ノ方向ニ進マシムヘキナリ

ニ上海方面ニ於ケル帝國ノ權益設定策ニ付

(1) 關シ投資金、國策會社ハ從來同種業務ヲモ取扱ヒタル現存上海銀行及漢口銀行ヲモ之ニ吸收シ普通銀行業務ヲモ取扱ハシムルトモニ其ノ事業範圍ヲ單ニ特別市附近ニ限定セス將來ハ揚子江流域一帯ニ及ハシムル方針ヲ以テ進ムヲ可トス故ニ(一)ハ右主旨ニテ訂正スヘシ

(2) (一)ノ(四)ニ關シ公共事業ノ經營ニ付テハ他ノ企業家ノ同地域進出

外務省

12.11

30 IMT 357

12

0070

ハ之ヲ阻止スルノ方法ヲ購スルノ要アリ

(3) 關シテハ特殊會社ノ特典ニ付通商條約上從來常ニ本邦力支那側ニ主張シタル處ト同一ノ抗議ヲ第三國ヨリ支那側ニ提起スルコト必然ニテ又果シテ本邦力斯カル露骨ナル手段ニ依リ利潤ヲ貪ル必要アリヤ疑問ナリ、本件ハ同地域政權ノ歸趨、第三國トノ關係等ヲ充分考慮シタル後ニ非サレハ着手スヘカラサルモノト思考セラル故ニ本項ハ削除スヘシ

(4) 括弧内ニ關シ既ニ上海市魚市場ノ利用方ニ關シテハ訓令發出濟ナルニ付適當字句ノ修正ヲ要ス

外務省

12.11

31 IMT 357

13

0071



820

極秘

北支經濟開發方針

(三委幹)一三二六

一 北支經濟開發ノ目標ハ日滿經濟ノ綜合的關係ヲ補強シ以テ日滿支提携共榮實現ノ基礎ヲ確立スルニ在リ

之ガ爲支那現地資本並我方ノ資本及技術ヲ緊密ニ結合セシメテ經濟各部門ヲ開發整備シ以テ秩序ノ維持民衆生活ノ安定ヲ圖リ併セテ日滿兩國ニ亘ル我廣義國防生産力ノ擴充ニ資ス

而シテ開發實施ニ際シテハ努メテ支那側ヲ表面ニ立テ經濟侵略ナリ

北支經濟開發方針(代案)

一三一三二二

一 北支經濟開發ノ目標ハ日滿經濟ノ綜合的關係ヲ補強シ以テ日滿支提携共榮實現ノ基礎ヲ確立スルニ在リ

之ガ爲支那現地資本並我方ノ資本及技術ヲ緊密ニ結合セシメテ經濟各部門ヲ開發整備シ以テ秩序ノ維持民衆生活ノ安定ヲ圖リ併セテ日滿兩國ニ亘ル我廣義國防生産力ノ擴充ニ資スルモノト

而シテ開發實施ニ際シテハ日滿

29

文海

伊

15

IMT 357

0073

33

820

タル感ヲ抱カシメサル如クシ且我全國民ノ期待ニ反セザル適切ナル國策的運營ニ重點ヲオクモノトス

二 北支經濟開發ニ對スル第三國ノ善意的投資ハ之ヲ認ムルモノトス

北支ニ於ケル列國ノ既存經濟權益ハ本方針ニ矛盾セザル限り之ヲ尊重スルモノトス

三 北支經濟開發ノ爲一國策會社ヲ設立スルモノトシ舉國一致ノ精神ト全國產業動員ノ趣旨ヲ具現スルガ如ク之ヲ組織スルモノトス

及北支ノ國際收支ノ適合及物貨需給ノ調節ニ重點ヲ置キ緩急ヲ誤ラザル様措置スルト共ニ努メテ支那側ヲ表面ニ立テ經濟的壓迫ヲ與フルガ如キ感ヲ抱カシメザル様施策スルモノトス

二 北支ニ於ケル主要交通運輸事業、主要通信事業、主要發送電事業、主要鑛產事業、鹽田ノ開發鹽業及鹽利用工業等ニ付テハ所要ノ統制ヲ加フルコトトシ之カ爲適當ナル機關ヲ設クルモノトス

右ニ掲クル諸事業以外ノ事業ハ

16

IMT 357

0074

34

トス  
 主要交通運輸事業（港灣及道路ヲ含ム）、主要通信事業、主要發送電事業、主要鑛産事業、鹽田ノ開發鹽業及鹽利用工業、其他棉花羊毛等ニ關スル重要産業ハ右會社ヲシテ之ガ開發運管又ハ調整ニ當ラシムルモノトス  
 右重要産業以外ノ事業ハ特別ノ專由アル場合ノ外之ヲ自由トシ日本資本ニヨル開發ニ際シテハ支那人企業トノ協詢ヲ圖ルモノトス

特別ノ專由アル場合ノ外之ニ特別ナル統制ヲ加ヘサルモノトス  
 三 北支經濟開發ニ當リテハ支那側資本ノ利用ニ努ムルモノトス  
 日本側資本ニ依ル開發ニ際シテハ其ノ浪費ヲ避クルト共ニ支那側企業トノ協詢ヲ圖ルモノトス  
 四 北支經濟開發ニ對スル第三國ノ投資ハ弊害ヲ伴ハザル限り之ヲ認ムルモノトス  
 北支ニ於ケル第三國ノ既存經濟權益ハ努メテ之ヲ尊重スルト共ニ北支ニ於ケル中南支及第三國資本ハ之ヲ存置セシムルニ努ム

四 日滿北支貿易關係ノ緊密化ヲ圖ルト共ニ北支對第三國貿易ノ適切ナル調整ヲ行フモノトス  
 五 農民生活ノ安定ヲ圖ル爲現地政權ヲシテ農業ノ改善、治水及利水、植林、合作社等ニ關スル所要ノ施設ヲ爲サシムルモノトス  
 六 北支ニ於ケル既存事業ニシテ重要産業ニ關スルモノハ以上ノ方針ニ從ヒ之ヲ整理又ハ調整スルモノトス  
 七 差當り直チニ着手シ得ル事業

ルモノトス  
 五 日滿北支貿易關係ノ緊密化ヲ圖ルト共ニ北支對第三國貿易ノ適切ナル調整ヲ行フモノトス  
 六 現地政權ヲシテ棉花栽培其他農業ノ改善、治水及利水、植林、合作社等ニ關シ逐次所要ノ施設ヲ爲サシムルモノトス  
 七 北支ニ於ケル既存事業ニシテ二ノ第一項ニ掲グル諸事業ニ關スルモノハ<sup>以上</sup>方針ニ從ヒ之ヲ整理又ハ調整スルモノトス  
 八 差當り直チニ着手スルヲ可ト



ニ付テハ將來本方針ニ基ク整理  
 又ハ調整ヲ條件トシテ速ニ之ヲ  
 開始スル様措置スルモノトス

八 北支經濟開發ニ關スル交渉ノ  
 相手方ハ差當リ治安維持會若ク  
 ハ其ノ聯合會又ハ局地政權トシ  
 將來新政權成立シタル場合ニハ  
 之ヲ交渉相手方トス

認ムル事業ニ付テハ將來本方針  
 ニ基ク整理又ハ調整ヲ條件トシ  
 テ速ニ之ヲ開始スル様措置スル  
 モノトス

九 北支經濟開發ニ關スル交渉ノ  
 相手方ハ差當リ治安維持會若ク  
 ハ其ノ聯合會又ハ局地政權トシ  
 將來新政權成立シタル場合ニハ  
 之ヲ交渉相手方トス

極秘

北支經濟開發方針ニ關スル諒解事項

一三一三一ニ

- 一、北支ニ於ケル財政ノ強化時ニ北支政權ニヨル海關ノ速カナル把握ニ  
 努メ以テ北支ニ於ケル公共事業其他ノ開發諸事業ニ寄與セシムルコ  
 ト
- 二、北支經濟開發ノ遂行ヲ保障スル爲外交並ニ政治指導上萬遺憾ナキヲ  
 期スルコト
- 三、北支對第三國國際收支ノ維持改善ヲ圖ル爲有效適切ナル方策ヲ講ズ  
 ルコト
- 四、北支經濟開發ニ當リテハ我國經濟ノ實情ニ應ジ其ノ規模及緩急ヲ適  
 宜決定スルコト
- 五、北支ニ於ケル諸事業ニ對シテハ我國爲督官埋法及臨時資金調整法ノ  
 適用ニ依リ必要ナル統制ヲ加フルコト
- 六、北支ニ於ケル命採掘事業ニハ我國國際收支ノ觀點ヨリ速ニ速カニ着  
 手セシムルコトトシ今後ニ於ケル調整ニ際シテモ此ノ事情ヲ考慮ス  
 ルコト

極秘

上海方面ニ於ケル帝國ノ經濟的權益設定對策  
修正意見(大藏省)

一、左ノ如ク改ム

「租界ノ周邊(租界及越界道路ヲ除ク大上海市管轄區域)ヲ特別市トシ右特別市内ニ於ケル電話、電力、電燈、水道、瓦斯、電車、バス」等公共的性質ヲ有スル諸事業ノ實權ヲ我方ニ把握スルモノトシ、之ガ爲必要アルトキハ國策會社ヲ設立ス

✓尙右ニ要スル資金ハ原則トシテ現地ニ於テ之ヲ調達スルモノトス

ニ、右ヲ削除シ三以下ヲ順次繰上グ

三、五ヲ左ノ如ク改ム

「租界ニ對スル魚類、肉類、野菜等ノ生活必需品ノ供給ヲ爲サシム

ル爲特別市地域ニ市場ヲ設ク(差當リ上海市魚市場等ノ利用ヲ考慮シ尙小型船舶ノ自由出入港ヲ認メシム)

極秘

(三委幹)一三一三七  
上海方面ニ於ケル帝國ノ經濟的權益設定對策

上海ヲ據點トシ中支方面ニ對スル帝國ノ經濟的發展ノ基礎ヲ確立スルヲ目標トシ其ノ具體的方策ノ一トシテ左ノ通り措置スルモノトス  
一、租界ノ周邊即チ租界及越界道路ヲ除ク大上海市管轄區域ヲ特別市トシ右特別市ノ繁榮ヲ計リ邦人ノ經濟發展助長ヲ目的トスル國策會社ヲ設立ス

本會社ハ差當リ特別市内ニ於ケル電話、電力、電燈、水道、瓦斯、電車、「バス」等公共的性質ヲ有スル諸事業ノ運営ニ當ルモノトシ尙其他ノ事業(例ヘバ(1)下記各項ニ關連スル企業ノ經營、投資又ハ金融(2)特別市及租界内邦人中小企業家ニ事業資金ヲ融通(3)邦人ノ租

界内不動産取得ニ對スル金融等ノハ狀勢ニ應ジテ具體的ニ之ヲ決定スルモノトス

(附記)右會社ニ對シ特別市ニ於ケル現ニ軍ノ管理スル土地其他他地方ノ管理下ニアル土地ニ關スル經營等ノ諸事業ヲモ必要ニ應ジ之ヲ行ハシムルコトヲ得

ニ、特別市當局ノ免許ニヨリ日本側資本又ハ日支合辦ヲ以テ例ヘハ「アルコール」砂糖煙草等特殊ノ會社ヲ新設シ將來(中支新廠樹立ノ場合)之ニ關稅免除或ハ獨占ノ特典ヲ附與スルコトヲ考慮ス  
三、特別市内ニ於ケル舊支那側官有ノ機關及土地建物等ハ全部我方ニ於テ接收シ適當利用ス

但シ特別市當局ニ於テ行政上必要アルモノハ之ヲ使用セシム  
四 上海附近ト本邦各地北支、滿洲國間等トノ通信運輸航空ノ聯絡基地  
トシテ出來得ル限リ特別市地域ヲ利用スルモノトシ差當リ左ノ各項  
ヲ實施ス

(イ) 適當ナル汽船會社等ヲシテ北江碼頭招商局碼頭等ヲ利用セシムル  
コトトス

(ロ) 將來上海方面ニ於ケル有線無線（放送ヲ含ム）通信權ノ實質的獲  
得ニ必要ナル諸施設ヲ管理運用ス

(ハ) 上海福岡連絡飛行基地トシテ龍華飛行場ヲ管理運用ス尙虹橋及遠  
東飛行場ノ管理權ヲ獲得シ將來日支航空連絡ニ對スル實質的權益

五 特別市地域ニ大市場ヲ建設シ租界ニ對スル魚類、肉類、野菜等ノ生  
活必需品ノ供給ヲ爲サシム（差當リ上海市魚市場等ノ利用ヲ考慮シ  
尙小型船舶ノ自由出入港ヲ認メシム）

ノ設定ニ資ス

820

極秘

昭和十二年十二月十六日

三

四

五

五

別紙第一、第二ノ通り  
「北支經濟開發方針」並「上海方面ニ於ケル經濟的權益設  
定策」ニ付協議決定

IMT 357

27

0085

REEL No. A-0214

アジア歴史資料センター



別紙第一

北支經濟開發方針

一三二二六  
第三委員會

一、北支經濟開發ノ目標ハ日滿經濟ノ綜合的關係ヲ補強シ以テ日滿支提携共榮實現ノ基礎ヲ確立スルニ在リ

之ガ爲支那現地資本並我方ノ資本及技術ヲ緊密ニ結合セシメテ經濟各部門ヲ開發整備シ以テ秩序ノ維持民衆生活ノ安定ヲ圖リ併セテ日滿兩國ニ亘ル我廣義國防生産力ノ擴充ニ資スルモノトス

而シテ開發實施ニ際シテハ日滿及北支ノ國際收支ノ適合及物資供給ノ調節ヲ尊重シ緩急ヲ誤ラザル措置置スルト共ニ努メテ支那側ヲ表面ニ立テ經濟的壓迫ヲ與フルガ如キ感ヲ抱カシメザル如クシ且我全國民ノ期待ニ反セザル適切ナル國策的運營ニ重點ヲ置クモノトス

二、北支經濟開發及統制ノ爲一國策會社ヲ設立スルモノトシ舉國一

致ノ精神ト全國產業動員ノ趣旨ヲ具現スルガ如ク之ヲ組織スルモノトス

主要交通運輸事業（港灣及道路ヲ含ム）、主要通信事業、主要發送電事業、主要鑛產事業、鹽業及鹽利用工業等ニ關スル重要産業ハ右會社ヲシテ之ガ開發經營又ハ調整ニ當ラシムルモノトス

右會社ノ運營ニ就テハ日滿兩國ノ重要産業計畫ニ即應スルト共ニ常ニ我國ノ實情ニ鑑ミ緩急宜シキヲ制スル事ニ意ヲ用フベキモノトス

右重要産業以外ノ事業ハ特別ノ事由アル場合ノ外特別ナル統制ヲ加ヘザルモノトス

三、北支經濟開發ニ當リテハ支那側資本ノ利用ニ努ムルト共ニ支那側企業トノ協調ヲ圖ルモノトス

四、北支經濟開發ニ對スル第三國ノ協調的投資ハ之ヲ認ムルモノトス

北支ニ於ケル列國ノ既存經濟權益ハ事情ノ許ス限り之ヲ尊重スルモノトス

五 日滿北支貿易關係ノ緊密化ヲ圖ルト共ニ北支對第三國貿易ノ適切ナル調整ヲ行フモノトス

六 現地政權ヲシテ農業ノ改善、治水及利水、植林、合作社等ニ關シ逐次所要ノ施設ヲ爲サシムルモノトス

七 北支ニ於ケル既存專業ニシテ重要産業ニ關スルモノハ本方針ニ從ヒ之ヲ整理又ハ調整スルモノトス

八 差當リ直チニ着手シ得ル專業ニ付テハ將來本方針ニ基ク整理又ハ調整ヲ條件トシテ速ニ之ヲ開始スル様措置スルモノトス

九 北支經濟開發ニ關スル交渉ノ相手方ハ差當リ中華民國臨時政府、治安維持會若クハ其ノ聯合會又ハ局地政權トス

0087

30

INT 357

48

49

(2)

820

閣議諒解事項

- 一、主要交通運輸事業、主要通信事業ニ付テハ滿支ヲ通ズル一會社ノ一元經營ハ之ヲ認メザルコト
- 二、北支政權ノ財政強化ニ努メ以テ北支ニ於ケル公共事業其他ノ開發諸事業ニ寄與セシムルコト
- 三、北支對第三國國際收支ノ維持改善ヲ圖ル爲有效適切ナル方策ヲ講ズルコト
- 四、北支ニ於ケル産金事業ハ我國國際收支ノ觀點ヨリ特ニ速カニ着手セシムルコトトシ今後ニ於ケル調整ニ際シテモ此ノ事情ヲ考慮スルコト

50 INT 357

31

0038





委員會諒解事項

日滿支ノ交通、通信ノ圓滑ナル連絡ニ資スル爲北支ニ於ケル交通通信事業ヲ經營スル機關ハ滿鐵並滿洲電々會社ト常ニ緊密ナル關係ヲ保持セシムル様措置シ尙滿鐵並電々社員ノ大陸ニ於ケル活動ノ適性並今次事變ニ於ケル活動ノ實狀ニ鑑ミ交通々信事業ノ經營ニ際シテハ之等ヲ充分活用スルノ方針ヲ執ルコト

極秘

別紙第二

上海方面ニ於ケル帝國ノ經濟的權益設定策 一三二二一六  
第三委員會

上海ヲ據點トシ中支方面ニ對スル帝國ノ經濟的發展ノ基礎ヲ確立スルヲ目標トシ其ノ具體的方策ノ一トシテ左ノ通り措置スルモノトス

一、租界ノ周邊（租界及越界道路ヲ除ク大上海市管轄區域）ヲ特別市トシ右特別市内ニ於ケル電話、電力、電燈、水道、瓦斯、電車、バス等公共的性質ヲ有スル諸事業ノ實權ヲ我方ニ把握シ之ヲ經營スルト共ニ下記各項ニ關聯スル事業ノ經營又ハ調整ニ方ヲシムル爲メ國策會社ヲ設立ス  
右國策會社ノ規模並事業着手ノ順序等ニ就テハ我國ノ實情及現地情勢ヲ參酌シ別ニ之ヲ定ムルモノトス  
右國策會社ノ資本ニ就テハ其目的上支障ナキ限り現地資本ノ利用ヲ圖ルモノトス

尙特別市及租界内邦人中小企業家ニ對スル資金融通及邦人ノ租界内不動産取得ニ對スル資金融通等ニ就テハ可及的速ニ別途考慮スルモノトス

二、特別市内ニ於ケル舊支那側官有ノ機關及土地建物等ハ全部我方ニ於テ接收シ適宜利用スルモノトス

三、上海附近ト本邦各地北支、滿洲國間等トノ通信運輸航空ノ聯絡基地トシテ出來得ル限り特別市地域ヲ利用スルモノトシ差當リ左ノ各項ヲ實施スルモノトス

(1) 適當ナル汽船會社等ヲシテ虹橋碼頭招商局碼頭等ヲ利用セシム

(2) 將來上海方面ニ於ケル有線無線（放送ヲ含ム）通信權ノ實質的獲得ニ必要ナル諸施設ヲ管理運用ス

(3) 上海福岡連絡飛行基地トシテ龍華飛行場ヲ管理運用ス尙虹橋

及遠東飛行場ノ管理權ヲ獲得シ將來日支航空連絡ニ對スル實  
 質的權益ノ設定ニ資ス

四特別市地域ニ大市場ヲ建設シ租界ニ對スル魚類、肉類、野菜等  
 ノ生活必需品ノ供給ヲ爲サシムルモノトス（差當リ上海市魚市  
 場等ノ利用ヲ考慮シ尙小型船舶ノ自由出入港ヲ認メシム）

五差當リ直チニ着手シ得ル事業ニ就テハ國策會社成立ノ際適宜整  
 理又ハ調整スルヲ條件トシテ速ニ之ヲ開始スル様措置スルモノ  
 トス

六本經濟的權益設定ニ關スル交渉ノ相手方ハ差當リ治安維持會又  
 ハ局地政權トス



820

閣議諒解事項

右國策會社ニ對シ特別市ニ於ケル軍ノ管理スル土地其他我方ノ管理下ニアル土地ニ關スル經營等ノ諸事業ヲモ必要ニ應ジ之ヲ行ハシムルコトヲ得

0092

15

57

IMT 357

36

REEL No. A-0214



アジア歴史資料センター

17

820

同方針ニ對スル閣議諒解事項(二)

日滿支ノ交通、通信ノ圓滑ナル連絡ニ資スル爲北支ニ於ケル交通通信事業ヲ經營スル機關ハ滿鐵並滿洲電電會社ト常ニ緊密ナル關係ヲ保持セシムル様措置シ尙滿鐵並電電社員ノ大陸ニ於ケル活動ノ適性並今次事變ニ於ケル活動ノ實狀ニ鑑ミ交通通信事業ノ經營ニ際シテハ之等ノ人員技術經驗等ヲ充分活用スルノ方針ヲ執ルコト

IMT 357

38

0094

16

820

北支處理方針乙、經濟開發方針ニ對スル閣議諒解事項(一)

一、主要交通運輸事業、主要通信事業ニ付テハ滿支ヲ通ズル一會社ノ一元經營ハ之ヲ認メザルコト  
 二、北支政權ノ財政強化ニ努メ以テ北支ニ於ケル公共事業其他ノ開發諸事業ニ寄與セシムルコト  
 三、北支對第三國國際收支ノ維持改善ヲ圖ル爲有效適切ナル方策ヲ講ズルコト  
 四、北支ニ於ケル產金事業ハ我國國際收支ノ觀點ヨリ特ニ速カニ着手セシムルコトトシ今後ニ於ケル調整ニ際シテモ此ノ事情ヲ考慮スルコト  
 五、北支ニ於ケル經濟開發殊ニ鑛工業開發ノ計畫ヲ樹ツルニ當リテハ内地産業ノ實情ニ考慮ヲ拂ヒ且事情ノ許ス限り内地ニ於ケル當該企業ノ技術、經驗及資本ヲ利用スル様措置スルコト

手紙 2

支那

Handwritten signature and date: 1941.10.10

IMT 357

37

0093